



西中だより

教育目標

豊かな人間性を培う
創造 自律 敬愛 健康

令和7年4月28日発行
第1号

「スタートが大切」

余市町立西中学校長 豊田 一正

校舎前にあった雪もすっかり姿が見えなくなり、暖かい日差しが気持ちを軽く感じさせてくれる季節になりました。西中の桜の開花もあと少しといったところでしょうか。

学校は、4月7日に始業式と入学式を行い、新年度がスタートしました。新入生21名、全校生徒68名です。年々、生徒数が減り寂しく感じてしまいますが、生徒からは新学期を迎え、これから始まる1年間にに向けて頑張ろうとする気持ちが伝わってきます。現在、3週間ほど経ちましたが、1年生は挨拶の声が高く、見ていてほのぼのとした気持ちになります。疲れが出てくるころかと思いますが、明るく、元気に過ごしてほしいと思います。2年生は快活さが増したように感じ、気持ちの良い挨拶ができる人が増えてきました。中堅学年は「中だるみ」と言われることもあります。前向きな気持ちで何事にも取り組んでほしいと思います。3年生は何となくおとなしい感じがしますが、きっと落ち着いているということなのでしょう。朝の様子を見てみると、朝読書の取組や話しを聞く姿勢が一番です。姿や行動で手本を示し、西中学校をリードしてくれることを期待しています。失敗は気にせず積極性を大切にしてください。

さて、西中学校も新年度がスタートしましたが、3月に卒業した先輩たちも新しい環境での生活が始まりました。高校入試後には振り返りをしてもらい、これから「頑張るぞ!」と思っている後輩へのアドバイスになると思い、いくつか紹介します。

- もっと早めに勉強を始めておけば良かった。また、基礎をしっかりと固めておくことが大事だと入試を終えて思った。
- もっと勉強しておけば良かったと思った。入試当日は不安を感じたし、緊張して冷静に取り組めた感じがしなかった。
- 過去問に取り組むだけではなく、解き方もわからないところは聞くなどした方が良かった。
- 日頃の授業を真剣に理解しようと努力することが、大きな点数の差になることがわかった。
- 勉強する姿勢が弱かったのか、最後まで苦手なところを克服できなかった。
できることなら、1、2年生の時の自分に「今から勉強して内申点をあげなさい! 勉強と部活を両立しなさい!」と言ってあげたい。



どうですか。実感がこもっていると思いませんか。「もっと、〇〇すればよかった」と後悔しないよう、目標を持ち、粘り強く取り組むことで力をつけてほしいと思います。今できることにベストを尽くすこと、そして、まずは動き出すこと、スタートが大切です。

今年度の重点目標は『**自分の良さを感じ、主体的に「やりきる」西中生**』としました。目標を考える時に先生方の考えや3年生一人ひとりと面談を行い、良い点や課題に感じる事、身につけたい力について聞く中で「自分に自信を持ってもらうこと」が必要であると感じました。そこで、生徒が活躍する場や認められる場などをつくり、「やってみよう」「やればできる」「やってよかった」などを実感してほしいと思います。そうすることで、自信を持つことが目標や見通し、意欲、粘り強さにつながるのではないかと考えました。

今年度も重点目標の達成に向けて、「温かい雰囲気のある学校」「小中高との連携・接続」「家庭・地域との連携・協働」を基盤に、子どもを中心に置いた教育活動を教職員一同全力で進めてまいります。今年度も引き続き、保護者、地域の皆様のご理解とご協力、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

